

## 11月24日(日)は「秋の防災訓練」です

(午前9時から開始します、ご参加よろしくお祈いします！)

今回の「秋の防災訓練」は、昨年の12月に修正されました新しい「町田市の地域防災計画」に合わせて実施されるもので、大変重要な「防災訓練」です。

これまでつくし野に住んでいる私たちの避難場所は、「セントラルパーク」でしたが、今年度の新しい町田市の地域防災計画では、新しく「避難広場」として、「つくし野小学校の校庭」が追加されました。

(引き続き「つくし野小学校の体育館」は「避難施設」として、家屋が倒壊などして住むことができなくなった人達のための「避難生活の場所」として位置づけられています。)

そこで、新しく「避難広場」として位置づけられました「つくし野小学校の校庭」を対象にして「実際に避難訓練」を実施して、どのような課題があるかを体験してみようということになりました。防災訓練は、年に一度だけでなく、何回も行う必要があります。

是非今回の防災訓練の重要性を知っていただき大勢の皆さんが参加されますようお願いいたします。

我が国で、「防災」という言葉や「東大地震研究所」をつくり、「南海トラフの存在」等地震のメカニズムを明らかにした「寺田寅彦博士」は日本人の特徴として「健忘症」をあげています。

関東大震災をはじめとして記憶に新しい東日本大地震など大きな災害にあっている私たちは、その経験を忘れることなく、学んだ教訓を大切にしていかなければなりません。

東日本大震災の教訓も大切にしなければなりません、もっと参考にする必要があるのが都市型の「阪神淡路大震災」です。亡くなられた方の80%が自宅の室内で無念の最期を遂げられています。今更ながら「日頃の備えと隣近所の助け合い」の大切さを痛感させられた教訓でした。

ほぼ30年以内に70%の確率で間違いなく起こることが予想されている「多摩直下地震」に備えるために、私たちは日頃から備えを怠りなく進めていかななくてはなりません。

是非、「第2回防災訓練のお知らせ(実施要領)」をご覧くださいまして、「避難広場」の「つくし野小学校校庭」で、地元消防団と協力して、ご家族の皆さんにとりましても楽しくて、役に立つ訓練を行いますので、大勢の皆さんが是非参加されますようお願いいたします。

つくし野1・2丁目自治会副会長 自主防災隊副本部長 鈴木 匡



① 線まで米を入れる



②水の線まで水を入れる。



③25分煮詰める。



④炊き上がり



★精米店からは、最近の精米は優れているので、糠臭いことは無いとのアドバイスを受け

飲料水の不足を想定し、精白米をとがずに袋に入れました。

★水を線まで入れ、空気を抜き「折り曲げ線」でしっかり輪ゴムでしばりました。

★煮る時間が 25分と長いため、寸胴の深い鍋が適していました。

★袋が浮き上がるのを確認して火を止めます。そのまま5分蒸らします。

★出来上がったご飯は、匂いは無くて食べやすいと思いました。

★炊飯袋の1袋は1合分の米を使います。五枚一組で米穀組合加盟店で購入できます。

★米をとがずに作ることに抵抗のある方は、無洗米で対応されると良いと思います。

11月24日の防災訓練時にデモンストレーションと皆様に配布を計画しています。是非ご参加ください。

自主防災隊 石原真

